

## 2015/2016 年度 第 4 回常任委員会 議事要旨

日時: 2015 年 12 月 23 日(水・祝) 13:30-17:10

会場: 筑波大学東京キャンパス

出席者:

呑海, 加藤, 大田原, 池田, 鈴木, 高井, 西脇, 佐藤, 米倉, 上村(記録)

### 1. 報告事項

#### 1.1. 小委員会・事務局

##### 1.1.1. 研究小委員会

###### ① 関東五支部合同例会

演題: 「松竹大谷図書館のクラウドファンディングによるプロジェクト」

日時: 2015 年 1 月 30 日(土) 15:00-17:00

場所: 筑波大学東京キャンパス

12/22(火)に松竹大谷図書館を訪問し, 打合せを実施した。

90 分ご講演, その後質疑応答とすることになった。

図書館の成り立ち, 4 回実施したクラウドファンディング関係の話題をする予定。

PC とネットワークの用意を要請された。

ご講演者は 14:30 にいらっしゃることとなったので, 実行委員は 14:00 集合とする。

年内に広報開始し, Web で申し込みの際に, 事前に聞きたいことを書いてもらうこととする。

###### ② 近畿 3 支部合同例会

特段の報告事項なし。

###### ③ 大図研オープンカレッジ

運営サポート会員が決定した。

##### 1.1.2. 編集小委員会

###### ① 会報『大学の図書館』

進捗状況は以下のとおりである。

- 11 月号(担当:江沢)

巻頭言: 江沢

特集「大学図書館の企画展示(東北学院大学, 筑波大学, 一橋大学)」とする。

ワンデイセミナーの参加報告, 全国大会(広島)のお知らせを掲載する。

- 12 月号(担当:池田)

初校校正中である。執筆者の確認は済んでいる。

大会関係の記事(大会のまとめ, 決算報告及び役員名簿)提出で完了となる。

→決算報告は, 第 2 回全国委員会で承認を得たものを掲載する。

- 1 月号(担当:鈴木)

12 月 21 日に入稿した。

特集「大図研, 北から南から」。

群馬支部, 神奈川支部の記事が未着, 石川支部は辞退された。

今週中に全部入稿できる見込みが立っている。

- 2 月号(担当:和知)

特集「震災アーカイブの現在」または「震災の記録のいま」とする予定である。  
既に東北地区の大学に原稿を依頼している。  
2016年の編集体制のうち、運営サポート会員が決定した。  
→すべて編集小委員会 ML dtk-h@ に登録した。  
現在、担当号を調整中である。編集スケジュール表は、各運営サポート会員に送付済である。

② 研究会誌

関東・関西の企画3件の原稿を依頼中である。×切は4月を目安として通知済である。  
全国大会の研究発表については、演者の坂本氏に依頼済で、同様に4月を×切として通知済である。

③ その他

会報編集マニュアルの改訂を実施中である。

1.1.3. 広報小委員会

① Web

第47回全国大会のホームページを公開し、関連情報を更新中である。  
活動日誌は、各支部からの情報入り次第、適宜更新している。

② SNS

11月17日-12月16日の間、以下のとおりであった。

- Twitter: 投稿 861(7件投稿), フォロワー649(+9), リツイート 2, いいね(お気に入り)1
- Facebook: いいね 248(+12), 投稿 7件(見た人 1162, いいね! 53)

③ 支部だより

【電子版】151015\_151114を11月28日に送信した。

151115\_151214の情報を、全国委員に12月17日に依頼した。

④ その他

Webのバックアップも実施中である。

1.1.4. 組織小委員会

① 会員数

12月20日現在、484名である。

前月は482名であった。

② 入退会者数 (2015/11/19~2015/12/20)

- 入会(2名)
- 退会(0名)
- 入会希望(1名)

③ ML登録アドレス数

374

④ その他

購読会員ラベルについて、出版部と協議中である。

#### 1.1.5. 全国大会小委員会

12月19日(土)に現地で打ち合わせを実施した。

収入を多く得て、大会バッグを作成したいと考えている。予稿集の製作と合わせて見積もりを取ってみる。

シンポジウムとその講師の調達は、常任委員会で考える必要がある。

#### 1.1.6. 事務局

##### ① 財政

資料に基づき報告をした。

##### ② 出版部

資料に基づき報告をした。

#### 1.1.7. その他

特になし。

#### 1.2. ワーキング・グループ

報告事項なし。

### 2. 審議事項

#### 2.1. 小委員会・事務局

##### 2.1.1. 研究小委員会

来年の大同研オープンカレッジの運営体制(京都支部)およびスケジュールについて検討した。

京都支部に所属する運営サポート会員を中心として運営することは、全国委員会で承認済である。

運営サポート会員4名が決定している。

具体的な企画は数点あり、予算もみて検討中である。

スケジュールは今頃から動き出し、2月に講師・会場決定、会報通知等を順次実施する。

開催時期は6月頃が望ましいと伝えているが、会場予約の関係で決まってくるかと考えられる。

開催時期の目安と予算(できれば独立採算が望ましいこと)を京都支部所属の運営サポート会員に伝える。

##### 2.1.2. 編集小委員会

###### ① 会報への全国大会関係記事の掲載の変更

会報の全国大会関係記事の掲載の変更について検討した。

- 【5月号】全国大会スケジュールのみ

- 【6月号】第2号議案(決算報告・予算案)及び第3号議案以外の全ての全国大会関係情報

を、それぞれ掲載することとなった。

第2号議案は、別刷りとし、7月号と同送することとなった。

第3号議案は、グループ制移行との関連もあり、当日配布資料とすることとなった。

2月号から、広島大会に向けてのコラムの欄を設けることになった。

会費徴収WGと研究WGの検討結果を掲載するために、何月号に何を入れなければいけ

ないかというスケジュールを作成することになった。

- ② 会誌投稿規定改定と査読体勢(担当:北川)  
次回常任委員会に、査読の体制についての資料を提出する。
- ③ 会報等の発送方法検討。1月までに案作成(担当:佐藤・北川・赤澤)  
冊子発送のアウトソーシングについて検討した。  
発送の仕様を明らかにしなければ見積もりが取れないため、仕様書案を事務局が作成することになった。  
3月から発送できるよう準備する。

#### 2.1.3. 広報小委員会

ウェブページの更新について検討した。  
今期の役員体制図が未更新のため、事務局が案を作成し、常任委員会で諮った後、ウェブで公開する。

#### 2.1.4. 組織小委員会

会費徴収WGと、特に名簿管理の部分について、引き続き調整中である。

#### 2.1.5. 事務局

- ① ウェブサイトの連絡先更新案  
大図研ウェブページの「問合せ先」の情報が不正確なので、事務局が案を提示することになった。
- ② OPP封筒への変更  
11月号から、個別配送についてはOPP封筒を使用するよう、事務局からクイックスに依頼する。  
なお、OPP封筒で送れないもの(封入冊数が多いもの)は、従来どおりの紙封筒を用いる。  
併せて、11月号の厚みを確認し、OPP1封筒に何枚入るかをクイックスに計算して報告を依頼する。  
紙封筒は、今年度は従来のもを使用し続け、次年度に作成をし直すこととした。

### 2.2. ワーキング・グループ

#### 2.2.1. 研究グループWG

- ① 支部から地域グループへの移行スケジュール  
スケジュールについて検討し、以下で進めることとなった。
  - 2015年11月の全国委員会で、支部制から地域グループ制移行のための手続きを審議
  - 2016年2月末までに、各支部の方針を決定
  - 2016年6月の議案書号に掲載会員への広報は、地域グループと研究グループの両方が必要である。  
また、いわゆる点在会員向けの広報も必要であり、2016年2月までに支部の方針を決定して会報に掲載することが決定された。

移行において、支部間で調整できなかった場合など、もつれる場合でも、6月には決定しておく必要がある。

点在会員以外は支部から連絡があるはずなので、コラムに掲載する。

6月号に地域グループの結果を報告する記事を出す。支部報告のこれから版の位置づけとし、各支部提出のものをそのまま掲載する。

② 研究グループの今後の進め方。

2月号で募集し、4月末を〆切とする。

受付はウェブフォームとする。

申請結果はウェブで掲載する。

7月号に研究グループの結果を報告する。申請書の項目である、「種類」「研究グループ名」「代表者名(名前)」「グループの概要(400字目処)」の6項目を掲載する。

なお、完全版はウェブページに掲載する。

2.2.2. 会費徴収WG

4月号に会費徴収の記事を1ページ掲載する。

新年度から一括徴収になること、今年度分までは支部に支払うべきことが記事の内容となる。

2.3. その他

会計監査人が1名未決定なので、早急に決定する。

五十周年記念事業として、大図研の歴史をまとめてはどうかという意見があった。

3. 次回会議予定

2016年1月24日(日)とする。

以上